

すべての人が子育てしやすい環境づくり

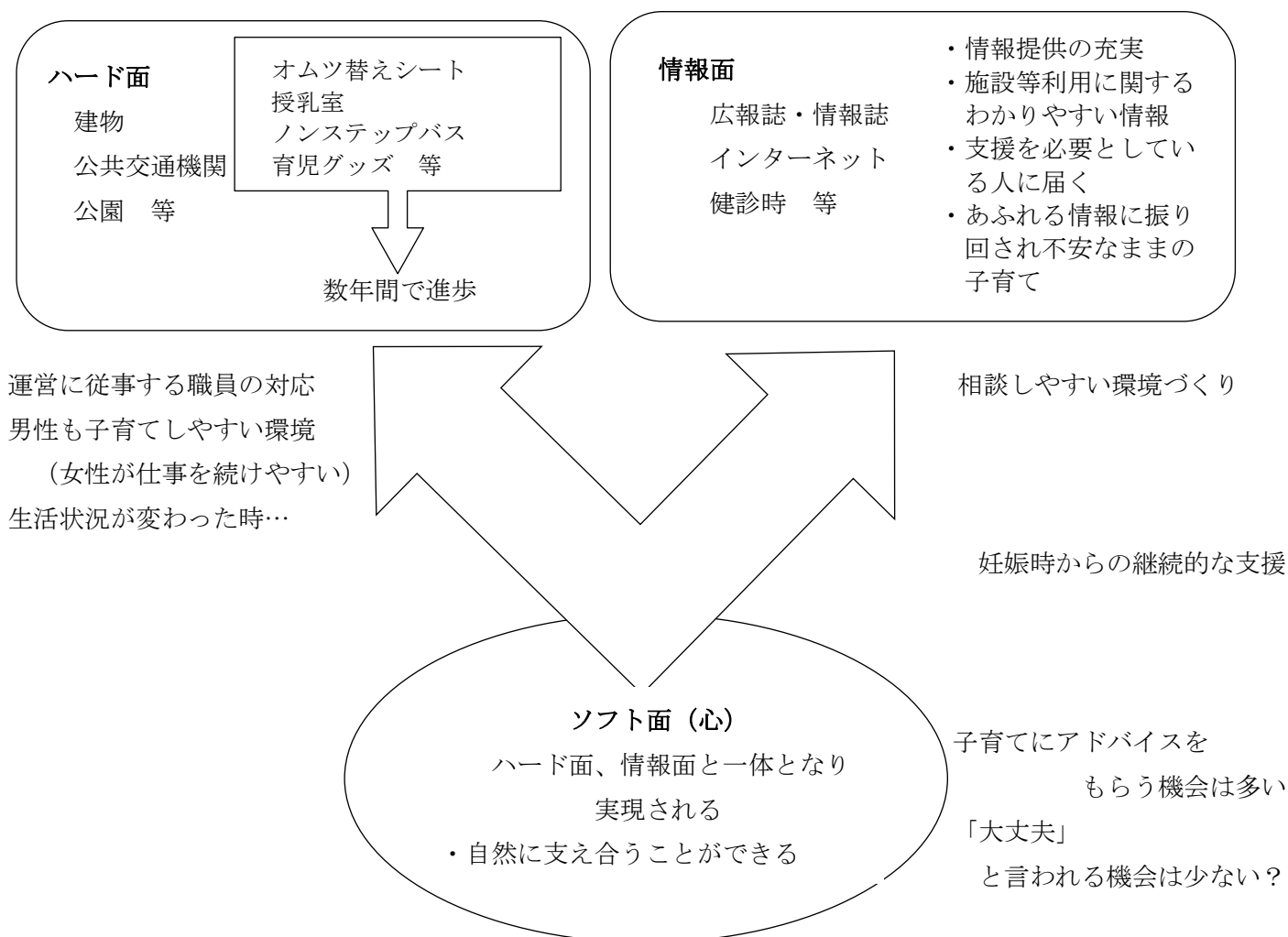
～ユニバーサルデザインの視点から～

鯉沼 美香子

【ユニバーサルデザイン】

物理的な障壁のみならず、社会的、制度的、心理的なすべての障壁に対処するという考え方(バリアフリー)とともに、施設や製品などについては新しいバリアが生じないよう、誰にとっても利用しやすくデザインするという考え方(ユニバーサルデザイン)が必要であり、この両方に基づく取り組みを併せて推進することが求められている。(総務省 HP より)

【子育て環境におけるバリアフリー・ユニバーサルデザイン】



ユニバーサルデザイン…多様さへの対応

さまざまな人々のニーズを考え、気づくこと

さまざまな立場、状況の人がそれぞれ望む生き方を実現できる支援
どんな境遇にある子ども幸せを感じて生きていくことができる支援

参考：総務省ホームページ

中野区ホームページ